

マルメ研修感想

早乙女歯科医院 歯科衛生士

小森裕子

歯科衛生士となり 4 年が経過し、担当患者を持つようになり 3 年がたった今、歯科予防の先進国であるスウェーデンの歯科医療を見て、聞いて感じたいという思いがあり今回参加させていただきました。

ダン・エリクソン先生をはじめ講師の方々の考えや講演は本当に素晴らしいもので、日々新たな視点で考えることができ、本当に刺激的で充実した日々を送ることができました。スウェーデンの歯科医療の哲学をはじめ、歯科医師・歯科衛生士の教育方法やエビデンスに基づいた診療・リスク評価、また、国の公共福祉としての歯科医療への取り組み等、日本の何十年も先の姿を見ることができたように感じました。

そういったことから、日本の歯科医療は診療内容や社会制度等、国全体で問題が山積みであり、個人的な事では患者さんへの教育や診療も不十分であったのではないかと感じました。しかし、スウェーデンのように多くの患者さんの口腔の健康を守ることを成功している国のお手本があり、それらを知っている事、または今後も継続して学んでいくことで、改善のスピードは早くなっていくと思います。

なので、私は歯科衛生士としてワールドスタンダードな知識を備え、学ぶことを続け、患者さんや医院に還元していきたいと思います。そういった事がいずれ日本全体の国民の口腔の健康に良い影響を与えていければ幸いです。

まずは、先生たちに任せている論文の読み解きにもチャレンジしていこうと思います。

学んだことや感じたことがあまりにも多すぎて、書ききれないですが、初日に熊谷先生からのお手紙の内容にあった通り、歯科衛生士としての哲学を再構築する良い機会となりました。これは何年後かにわかることだと思いますが、私の衛生士人生での大きなターニングポイントにもなっているのではないかと思います。一衛生士としてのプロ意識を持ち、一人でも多くの患者さんの歯の寿命が命の寿命を逆転出来るようにしていきます。

このような大きなチャンスを与えていただいた、熊谷先生を始め、講師の方々、このセミナーを企画し携わっていただいた方々へ深く感謝しています。ありがとうございました。